

## MMGの現状報告

下呂市立金山病院 市原 とも子

### 【はじめに】

近年日本人の乳癌罹患率が増加傾向にあるなか、マンモグラフィ検査に対する関心も高まり受診率も増加している。それに応えマンモグラフィを実施する施設にあっては安全で高品質な検査を受診者に提供しなければならない。今回当院での現状を日常の精度管理をまじえ報告する。

### 【使用機器】

撮影装置：東芝乳房用 X 線撮影装置 MAMMOREX

読み取り装置：FUJI FCR PROTECT CS

IMEGER：FUJI MEDICAL DRY IMAGER DRY PIX 7000

診断用モニタ：5M の白黒モニタ

### 【日常の精度管理】

試料内蔵ファントム、ステップファントムを用い撮影後画像評価をおこない記録する。

モニタでの全体評価試験と臨床画像評価をおこなう。

装置等の清掃をおこなう。

### 【マンモグラフィ検査での注意点】

H22 年度調べで検診 346 名/年、一般外来 336 名/年の受診があり 6 月から 12 月に多い傾向にあった。受診者は不安と羞恥心によりリラックスできないため、事前での検査説明を丁寧におこなう、撮影時にはひとつひとつの動作ごとに説明をしながらポジショニングをおこなう、不安を和らげる会話や動作を怠らないなどにより受診者の協力を得られるよう、より良い関係を築くことが大切である。

### 【今後の展望】

受診者の経過管理をおこなうとともに、我々も日々技術と知識の水準を上げより良い検査を提供できるよう努力していきたい。